

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

つるつるの今年は、5月1日が立春から数えて八十八目に当たる雑穀の八十八夜。霜が降りなくなるため、農作業の目安とされた日だ。だが残雪多い山麓

の影響もあり「八十八夜の泣き霜」などと言われる遅霜の発生による被害には十分気を付けたいものだ。だが八十八夜は未広がり「八」が重なる縁起のいい日とされ、この日摘み取られた新茶は、無病息災や不老長寿の縁起物でもある。

今日3日はラジオと共に普及したマイクロホンの増幅機能を活かし、声を張り上げずに滑らかに発声する歌唱法「クルーナ・スタイル」を最初に確立したアメリカの歌手ビック・クロスビーさんの誕生日だ。「星にスウィング」「サイレント・ナイト」を聴きながら新茶を楽しんだら、どんな至福の味が味わえるのだろうか。

3月訪日客308万人などが影響してか宿泊代金や食事費用の高額な価格が話題となっている。全国各地にチェーン店が立ち並ぶ光景を、消費社会研究家の三浦展さんが「ファースト風土化」と表現しているが、大手飲食資本が私たちの地域に台頭することが予想される。地域食事の価格安定には効果があるだろうが地域の個性が失われる危機感を

感じてしまう。既存の飲食店や食事に特化した民宿施設の活用で地域の食文化を提供することが大切な事だと考えてはどうだろうか。総務省が昨年10月1日時点の人口推計では、日本人は宮城県などは、日本人は宮城県など

高齢化社会では高齢者自らが、どうあるべきか問われている

筋骨は衰えるが知恵が働き、経験も増す。学問は学校で終わりでなく、人の寿命とともにいつまでも存続すべきと述べ、91歳で亡くなるまで社会貢献に尽力し「人生100年時代」の道標になっている。今後の社会を若い人や若者に委ね批判するのではなく、高齢化社会で高齢者自らがどうあるべきか問われている時代



ひっそりと下向きに咲くカタクリ。花言葉「初恋」「寂しさに耐える」美しい花でも連想する想いはさまざま

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代

に生きて

いる時代